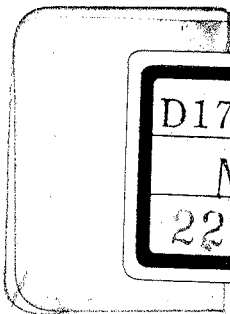


澁川二関スル工事概要

内務省大阪土木出張所



澱川ニ関スル概要

一、流域其他

(1) 流域 大阪府、京都府、滋賀縣、三重縣、奈良縣

兵庫縣

面積 約八〇二〇平方料 (約五二〇方里)

(2) 灌溉及別 二二、〇〇〇ヘクタール (約二三、〇〇〇町步)

(3) 水害及別 八五、三〇〇ヘクタール (約八五、四〇〇町步)

(4) 永害被害額 自明治四十三年拾々年平均 一〇九萬圓
至大正六年

内最大被害 大正六年 約六四七萬圓

二、澱川改良工事

(一) 區域 滋賀縣大津市石山町地先瀨田川筋

京都府久世郡宇治町以下大阪市東淀川區

天神橋筋九丁目地先新淀川分派口及派川新淀

川全部

- (一) 工事期間 自 明治三十年度 拾四年
- (二) 工費豫算 壹千九百四千圓
- (三) 竣功額 壹千六萬九千九百圓
- (四) 目的 高水防禦及新淀川開鑿 琵琶湖水位調節
- (五) 特種構造物施設

瀬田川洗堰 毛馬第一閘門 毛馬洗堰 西島閘門
傳法第一閘門 六軒屋第一閘門

三 淀川下流改修工事

- (一) 區域 左岸 大阪府北河内郡守口町以下安治川口ニ至ル
右岸 大阪市東淀川區大道町
- (二) 工事期間 自 明治四十年度 拾六年
至 大正十一年度
- (三) 工費豫算 參百七拾五萬五千圓
- (四) 竣功額 參百七拾參萬九千五百餘圓

(五) 目的 低水路整理

毛馬第二閘門、六軒屋第二閘門、傳法第二閘門
長柄起伏堰、長柄運河頭部扉、六軒屋洗堰

サイフォン

四 淀川改修増補工事

- (一) 區域 左岸 京都市伏見區橋詰町(觀月橋)以下派川新
右岸 同 市合 區豊後町
- (二) 施行延長 淀川分派口ニ至ル 及新淀川全部
本川及新淀川 四六料 (十一里半)
支川 九料三一

内

高瀬川 三料三。
七瀬川 〇料二六

(三) 計畫流量

船橋川	口料七八
穗谷川	口料四九
天川	一料二四
芥川	一料六二
檜尾川	一料三〇
水無瀬川	〇料三二

宇治川	八五三立方尺	(三万立方尺)
木津川	四六五〇立方尺	(十七万立方尺)
桂川	一九五〇立方尺	(七万立方尺)

計 七,四五三立方尺 (二十七万立方尺)

以上如ク合計流量ハ七,四五三立方尺(二十七万立方尺)ナルモ之カ同時ニ流集スルコトナキヲ考

(四) 計畫大要

慮シ計畫最大流量ヲ五,五六〇立方尺(三
十萬立方尺)ト定メタリ

- (1) 本川及支川堤防ノ松築
- (2) 中洲ノ掘鑿
- (3) 伏見浸水防止
- (4) 三川合流附替

(五) 河幅

宇治川 約二七〇米 (一五〇間)
 淀川及新淀川約五五〇米乃至約八〇〇米 (三〇〇間
 乃至四四〇間)

(六) 堤防

(1) 延長一〇九料四 (二七里餘)
 内

本川及新淀川 八六料三(二里半餘)
支川 二三料一(五里半餘)

(四) 高井 計畫洪水位以上
宇治川一米五乃至一米二(四尺乃至五尺)
本川及新淀川一米五(五尺)

トシ之レニ。米九ノ餘盛ヲナス

(八) 馬踏幅 五米五(三間)乃至九米(五間)

(二) 土量 約九百万立方米(一五〇万立坪)

(七) 特種構造物

新設

平戸樞門、平戸陸閘、三柵洗堰、三柵閘門、長
柄運河給水樞門

補修

毛馬第一閘門、毛馬洗堰

(八) 附帶工事施行ヶ所

内

直轄施行

樞門水路附替等

五十三ヶ所

管理者施行

橋梁架設等

十二ヶ所

(九) 工費豫算及支出額

豫算

壹千四百五拾壹萬七千八百五拾壹圓

支出

壹千四百五拾萬壹千六百餘圓(昭和三十八年現在)

(十) 工事期間

自 昭和三十八年度 至 昭和三十九年度 拾六ヶ年

五 淀川維持工事

(一) 區域

滋賀縣栗太郡下田上村大字黒津地先瀬田川

洗堰附屬地及 左岸(京都市伏見區橋詰) 右岸(京都市伏見區豊後町) 觀

月橋)以下 左岸(大坂市東淀川區天神橋筋九丁目) 右岸(大坂市東淀川區天

新淀川分派口) 並新淀川

(二) 延長

本川及派川新淀川 四大料(十一里半)

支川

約一。料(二里半)

(三) 堤防延長

合計 左岸 約六〇
右岸 約五八 料

(四) 計畫大要

本川及新淀川宇治川 左岸 約四六
右岸 約四五 料
支川 左岸 約一四
右岸 約一三 料

(五) 工費豫算

堤防及護岸水剝等ノ補修及特種構造物ノ維持管理(特種構造物ハ淀川改修工費ニ於テ施行セル洗堰閘門)

至昭和十四年度 六年度後九〇〇
自昭和十三年度 二十八々年

六 淀川低水工事

(一) 區域

左岸 京都市伏見區橋邊町(觀月橋)以下 左岸
右岸 京都市伏見區豐後町(觀月橋)以下 右岸

(二) 延長

約二九料

(三) 目的

大坂府北河内郡庭窪村(神崎川極門附近)ニ至ル

從來施行ニ來ル淀川改修工事ハ主ト

シテ高水工事ニシテ洪水防禦ニ急ナリ

シテ為低水工事ヲ顧ル由ナク現時ニ於テ

ハ流路迂曲シ流水激衝セル為メニ既

設ニ作物ヲ損傷スル虞甚ナカラス

渴水時ノ航行困難ヲ來スニ至ルヲ以

テ低水工事ヲ施行シ以テ改修ノ効

果ヲ増大ナラシムルモノトス

(四) 工費豫算

九十萬六千圓

内

(五) 工事期間

國費 四拾五萬參千圓 外事務費 五四三六〇圓
京都府分担 拾壹萬九千八百九拾參圓
大阪府分担 參拾參萬參千壹百七拾七圓
昭和八、九年 度